

TICAD30周年行事

「TICAD30年の 歩みと展望」

TICADの意義と日・アフリカ関係の今後

日時

2023年

8月26日 土 14:00～18:00

ホテルニューオータニ 芙蓉の間

1部

14:13～15:10

パネル1「TICAD30年の歩み」

2部

15:30～16:30

パネル2「TICADの変化、援助から民間投資へ」

3部

16:50～17:50

パネル3「TICADの将来」

- 主催：外務省
- 協力：国連開発計画（UNDP）
- 形式：対面開催
- 定員：300名程度
- 言語：日本語、英語、フランス語（同時通訳）
- 配信：ZOOMによるライブ配信

パネリストの顔ぶれ（1）

モデレーター



二村 伸 NHK専門解説委員

1980年NHK入局。海外特派員として中東・アフリカ、欧州、東南アジアに駐在し、政治・経済の他、湾岸戦争やアフガニスタン紛争、イラク戦争、アフリカ各地の内戦と戦後の復興、南アフリカ民主化等を取材。アジア総局長を経て2009年より解説委員、海外情報番組「海外ネットワーク」キャスター、2022年より現職。

14:10～15:10 パネル1 「TICAD30年の歩み」



田中 明彦 国際協力機構（JICA）理事長

東京大学東洋文化研究所教授（1998-2012、2015-2017）、東京大学副学長（2009-2012）、JICA理事長（2012-2015、2022-）、政策研究大学院大学学長（2017-2022）を歴任。東京大学教養学部卒、マサチューセッツ工科大学政治学部大学院修了（Ph.D. 取得）。



エスティファノス・アフォキ・ハイレ 駐日エリトリア大使

1991年からエリトリア暫定政府にて勤務。2003年から駐日大使。2014年から在京アフリカ外交団長。



米山 泰揚 世界銀行駐日特別代表

1995年に大蔵省（当時）入省。国内（予算編成、債務管理等）・国際（国際開発金融機関、気候変動対策資金、二国間ODA等）、各方面の業務に従事。外務省、アフリカ開発銀行、国際通貨基金にも在籍。東京大学法学部・フランス国立行政学院（ENA）卒業。2021年8月より現職。



長坂 優子 日本リザルツ・ケニア駐在員

テレビ局で記者として勤務後、日本リザルツで国際保健の政策提言に従事。2018年からはケニア・ナイロビのスラム街で計200人の医療ボランティアと啓発活動をし、結核発見率の倍増に貢献。保健省やカウンティと連携し、国家結核戦略の改定やナイロビカウンティでの学校給食プログラム立ち上げをサポートした。

パネリストの顔ぶれ（2）

15:30～16:30 パネル2 「TICADの変化、援助から民間投資へ」



平野 克己 日本貿易振興機構（JETRO） 上席主任調査研究員

1991年よりアジア経済研究所。その後 南アフリカ国際問題研究所、ウィットウォーターズランド大学にて客員研究員、JETROヨハネスブルクセンター所長、地域研究センター長等を経てJETRO理事（2015-2019年）。2023年より現職。



河村 肇 日本経済団体連合会サブサハラ地域委員会企画部会長

1981年丸紅株式会社入社。プラント本部の常務執行役員や専務執行役員を経て、2023年に特別顧問に就任。2020年より日本経済団体連合会にて現職。



渋澤 健 経済同友会グローバルサウス・アフリカ委員会委員長

1996年に米大手ヘッジファンドに入社。2001年にシブサワ・アンド・カンパニー株式会社を創業し代表取締役に就任。2023年株式会社and Capitalを創業し代表取締役CEOに就任。「新しい資本主義実現会議」委員、UNDPのSDG Impact Steering Group委員、東京大学総長室アドバイザー等。



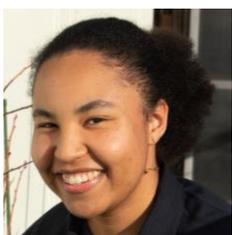
本道 和樹 株式会社日本貿易保険（NEXI） 取締役

1991年通商産業省（現経済産業省）入省。資源エネルギー、ものづくり政策、中小企業、通商政策等を担当。NEXI(2015-2019)、内閣府沖縄総合事務局等を経て、2023年より現職。



和久田 肇 独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構（JOGMEC） 副理事長

1992年通商産業省入省。文化情報、航空宇宙産業、資源政策等を担当。2020年より現職。



エノラ・ラ・ボーン

セーシェル出身。ABEイニシアティブ生として、三重大学大学院生物資源学部・生物資源学研究科にて、生物海洋学修士号を取得。卒業後、東京都にある汚泥処理を専門とする太陽油化に就職。土壌改良にも効果を発揮する植物活性剤「TOKYO8」を活用した海外での農業生産性向上を行っており、同社でアフリカ事業を牽引。

パネリストの顔ぶれ（3）

16:50～17:50 パネル3 「TICADの将来」



鈴木 貴子 衆議院議員（日本・アフリカ連合友好議員連盟）

2013年衆議院議員初当選。2018年より防衛大臣政務官。2021年より外務副大臣。自由民主党副幹事長。



アフナ・エザコンワ 国連開発計画（UNDP）総裁補兼アフリカ局長

アフリカの46か国にて年間12億米ドル規模の開発プログラムを実施する4000人以上の職員を率いている。10年に亘り、エチオピア、ウガンダ、レソトにおいて国連常駐調整官兼人道調整官を務め、国連人道問題調整事務所（OCHA）本部アフリカ担当部長として自然災害、緊急事態、復興への移行を率いた。



北中 真人 ササカワ・アフリカ財団理事長

1985年にJICA入団。農村開発部、企画調整部、パラグアイ事務所等で勤務。2013年にJICA農村開発部部長就任。「アフリカの稲作振興のための共同体（CARD）」拡大、市場志向型農業振興アプローチであるSHEPの推進、食と栄養のアフリカ・イニシアチブ（IFNA）立ち上げに貢献。2019年から現職。



大森 健太（株）STANDAGE取締役副社長

東大にて化学生命工学を専攻。卒業後、（株）伊藤忠商事にて医薬品や医療機械、ヘルスケア製品の国際貿易、海外企業へのM&A等に従事。2017年に（株）STANDAGEを創業。